

環境目的・目標と活動結果

Action for Environment

2009年度は未達成、一部未達成となった目標もありましたが、全体評価としては、おおむね達成されました
 2010年度は、これまでの目標をさらに拡大・継続するとともに新たな目標も加え
 PDCAサイクルの実践により、目標達成に向けて取り組んでいきます

2009年度全社環境目的・目標に対する活動結果と2010年度の全社環境目的・目標

環境目的	業務分類	2009年度			2010年度	
		環境目標	活動結果	評価	環境目標	備考
地球温暖化防止・資源の節約	施工	CO ₂ 排出量を施工高当りの原単位で1990年度比11.4%削減	建設機械のアイドルストップ等CO ₂ 排出量削減に努力前年度を上回る成果をあげたが、目標を未達成	×	CO ₂ 排出量を施工高当りの原単位で1990年度比12%削減	拡大
	オフィス	公共交通機関の利用の促進 保管書類の削減(削減量5%以上) 電力使用量の削減(前年度比3%以上)	タクシー利用の削減や社用車の運用効率化を推進 保管書類の廃棄、コピー用紙使用量前年度比13%削減 電力使用量:前年度比10%削減	○	公共交通機関の利用の促進 コピー用紙使用量の削減(前年度比10%以上) グリーン商品の購入(調達率60%以上) 電力使用量の削減(前年度5%以上)	拡大
建設副産物の再資源化率向上	施工	建設副産物のリサイクル率の向上 アスコン塊:98%以上 コンクリート:96%以上 建設発生木材:65% 建設汚泥:75% 廃棄物全体:93% 有効利用率の向上 建設発生土:90%	建設副産物のリサイクル率の向上 アスコン塊:100% コンクリート:100% 建設発生木材:97% 建設汚泥:81% 廃棄物全体:91% 有効利用率の向上 建設発生土:94%	△	建設副産物のリサイクル率の向上 アスコン塊:98%以上 コンクリート:98%以上 建設発生木材:75% 建設汚泥:80% 廃棄物全体:94% 有効利用率の向上 建設発生土:90%	拡大
					電子マニフェストの導入 1 導入率40%以上 2 全社で6支店以上で導入	新規目標
建設工事の混合廃棄物削減	施工	混合廃棄物排出量の軽減 ・工事施工高1億円当り 土木工事:1.3t以下 建築工事:5.1t以下 ・建築新築工事延床面積当り: 13.5kg/m ² 以下	混合廃棄物排出量 ・工事施工高1億円当り 土木工事:1.5t 建築工事:4.7t ・建築新築工事延床面積当り: 4.8kg/m ²	△	混合廃棄物排出量の軽減 ・工事施工高1億円当り 土木工事:1.3t以下 建築工事:4.1t以下 ・建築新築工事延床面積当り 10.0kg/m ²	拡大
					ゼロエミッションの推進 (土木2現場、建設3現場)	新規目標
水質汚濁の防止	施工	油流出事故防止(すべての水域)排水(油を含む)による水質汚濁の防止(すべて水域)	油漏れが1件発生 排水による水質汚濁事故はゼロ	△	海上河川等公共用水域における油の流出を含む水質汚濁の事故をゼロ件とする	継続
生物多様性の保全	施工環境配慮				生物多様性への取組み(5現場)	新規目標
自主的環境活動の促進	環境配慮	社員の環境配慮活動の向上	全社的に社員の環境配慮活動への参加が増え、意識が向上	○	(活動が定着したため、目標とせず運用)	継続
		環境配慮設計へ参画機会の増加	濁り対策、騒音振動対策、廃棄物削減策等の積極的な提案を実施	○	環境配慮設計へ参画機会の増加	継続
					設計案件に温暖化防止策提案を盛り込む	新規目標
		「CASBEE」(建築物総合環境性能評価システム)への対応	適用を受ける全案件で対応A評価取得提案を実施	○	「CASBEE」(建築物総合環境性能評価システム)への積極的な対応	継続
環境負荷軽減および環境創造に寄与する業務の促進	環境開発	資源の有効利用・リサイクルおよび環境改善に関する技術開発・研究の促進	浚渫土砂・スラグ等の有効利用・リサイクルと海域環境改善のための技術開発を実施	○	資源の有効利用・リサイクルおよび環境改善に関する技術開発・研究の促進	継続
		リニューアール、防災事業の部門目標を推進し環境負荷を低減	補修工法の提案と実施および砂浜浸食対策工事へ貢献	○	リニューアール、防災事業の部門目標を推進し環境負荷を低減	継続
		有害物質の処理処分による環境負荷の低減と水域環境の保全・創造のための事業を推進	環境負荷低減に寄与する対策案の提供と技術開発を実施	○	有害物・廃棄物等の対策による環境負荷の低減のための事業を推進	拡大
		環境負荷軽減・環境創造を意識し、これら業務を実施	環境負荷軽減・環境創造に関する相談業務を実施	○	環境負荷軽減・環境創造に寄与する業務を実施	継続
	設備計画	当社保有作業船、設備の環境負荷低減対策の推進	作業船ハイブリッドシステムの開発・搭載、環境監視システムと濁り軽減機材・工法の現場への導入を実施	○	当社保有作業船、設備の環境負荷低減対策の推進	継続

評価 ○:達成 △:一部未達成 ×:未達成